

令和4年1月26日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

調査事項

緊急通報装置事業について

～内容～

ひとり暮らしの高齢者等へ貸与している緊急通報装置について、利用状況等の調査を行いました。

～質疑～

問：対象者の把握はどのようにしているのか。

答：必要な方からの申請に基づき審査の上貸与している。民生委員が見回りの際にこの制度を紹介しているケースもある。

問：対象者をひとり暮らしの高齢者等に限定しているが、範囲を広げることはいか。

答：対象範囲を広げている他市町村においては、利用者から負担金をいただいている状況である。来年度この事業についてプロポーザルを実施する予定であり、対象範囲、利用者負担について検討していきたい。

生活支援にこにこサポート事業について

～内容～

生活支援にこにこサポート事業の活動状況等について調査を行いました。

～質疑～

問：現在活動しているサポーターは45名とのことだが、介護予防生活支援サポーター養成講座の修了者はどのくらいいるのか。

答：サポーター養成講座の修了者は約200名である。そのうちサポーター登録している方が133名で、現在も活動しているサポーターが45名である。

問：サポーター養成講座の修了者が200名いる中、活動しているサポーターが45名と少ないが理由はどうか。

答：体調不良や仕事、親の介護といった様々な事情により活動ができていない状況である。

問：市内の中高生や県立大学の学生等にサポーターとしての対象を広げてはどうか。

答：今年度県立大学の学生を中心に講座を開催し、40名が受講し33名が修了しているが、サポーターの登録をした方は2名となっている。

この仕組み自体はお困りの方を地域で支えあう非常に大事な枠組みであると考えている。担い手の広がりということをしっかりと考えながら、引き続き地域が地域で支えあう仕組みについて検討していきたい。

体育施設指定管理者変更に伴う引継ぎについて

～内容～

令和 4 年度から体育施設の指定管理者が変更になることに伴う引継ぎの状況について調査を行いました。

～質疑～

問：継続雇用を希望している現職員は引き続き新しい指定管理者でも雇用されるのか。

答：新しい指定管理者であるファジアーノ岡山において、説明会や個別面談を実施し、個別に条件等を提示して雇用手続きを進めていくことになると思う。今後も注視していきたい。

問：指定管理者が変更になることによって、システム等変更となることはないか。

答：自主事業であるスポーツプログラムについては、ファジアーノ岡山のスポーツプログラムに変更となるが、その他市が条例等で規定する施設等の使用料や予約システム等の変更はない。

校則について

～内容～

市内の小中学校の校則について調査を行いました。

～質疑～

問：学校の中で校則について話し合いをする機会はあるのか。

答：保護者から問い合わせがあった時にその都度話し合うのはもちろん、年度末に新年度に向けた話し合いをしていると聞いている。

問：保護者の意見を聞いて校則の改定ができる方法はないか。

答：各校において、毎年学校評価に関わって保護者へアンケートを行っている。その中で校則、服装に関する意見があって、それを基に校則の改定の検討をしたケースもある。

問：児童、生徒の意見は反映できるのか。

答：児童会、生徒会を通じて学校に意見を伝えて教職員が検討していくことになる。いろいろな意見を反映してひとつのきまりを作っていくが、最終的には校長に権限があ

る。決まったことは守るということは徹底していきたい。

夜間中学について

～内容～

夜間中学のニーズ調査の実施状況等について調査を行いました。

～質疑～

問：夜間中学を設置する場合は、どこに設置する予定か。

答：現在のところ候補として考えているのは、昭和中学校であるが、いただいた意見を踏まえて検討していきたい。

問：学び直しから進めていくとのことだが、どのような教科を学びたいのか把握をしているのか。

答：国語、数学に加えて英語の勉強を学び直したいという要望が多かったため、今のところ、国語、数学、英語を考えている。教科については、指導者の関係もあるが、できるだけ、希望に沿うようにしていきたい。

スクールバスについて

～内容～

学区・園区の弾力化を行い、市中心部と周辺部の児童数等の不均衡の緩和を図るとともに、教育特区の学校園を含め、区域外から通う児童等の通学通園を支援するため、スクールバスの運行を検討していることについて調査を行いました。

～質疑～

問：スクールバスの乗降所は総社駅だけか。途中に乗降所は設けないのか。

答：総社駅に集まって、各小学校へ送っていくことを考えている。途中で停留所を設ける予定はない。

問：どこに主眼をおくのか

答：市内の各学校園の児童数等の平準化が目的である。

問：スクールバスの運行について、早急に実施するのではなく、今回のアンケート調査を精査して、市内の学校園の児童数等を平準化する新しい施策も検討することが必要と思うがどうか。

答：スクールバスの運行については、いただいた意見を参考に、丁寧な研究、アンケート調査の分析等が必要だと考えている。

報告事項

新型コロナウイルス感染症について

～内容～

新型コロナウイルス感染症の状況等について報告を受けました。

日中一時支援事業について

～内容～

日中一時支援事業の委託料の見直しについて報告を受けました。

～質疑～

問：医療的ケアが必要な方を受け入れることができる施設はどのくらいあるのか。

答：現在は受け入れている施設はないが、今後 1 箇所受け入れをする方向で話が進んでいる。

問：料金改定をした理由はどうか。

答：支援の程度区分（医療ケア児等、手帳等所持者、要支援者）を設け、手帳等所持者の方の基準は変えず、要支援者については他自治体を参考に金額を設定した。実際に事業所等の意見も聞きながら金額設定をしたものである。

市内の医療提供体制について

～内容～

本市に不足する拠点病院機能を備えた病院の新築の動きについて報告を受けました。

～質疑～

問：現在総社市救急指定病院施設整備補助金交付要綱があるが、その他の財政支援を考えているのか。また、どの程度の財政支援を考えているのか。

答：総社市救急病院施設整備補助金交付要綱については、救急医療体制の整備を目的にした補助金交付要綱であり、今回建設を予定している病院への支援は 2 次救急に加え、新たな機能を加えていくことになるため、新しい補助金交付要綱を検討している。支援の規模についても現在検討中である。